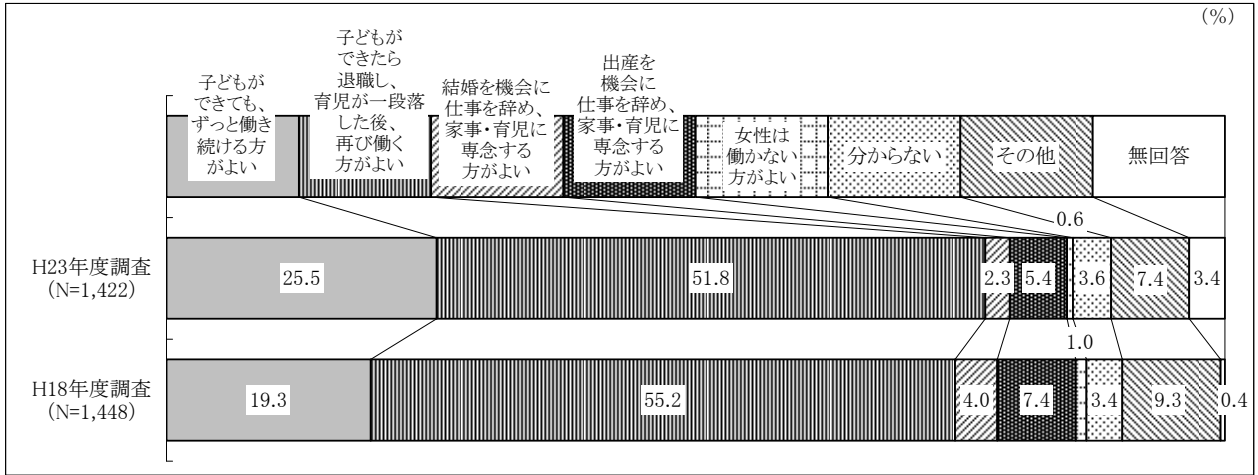


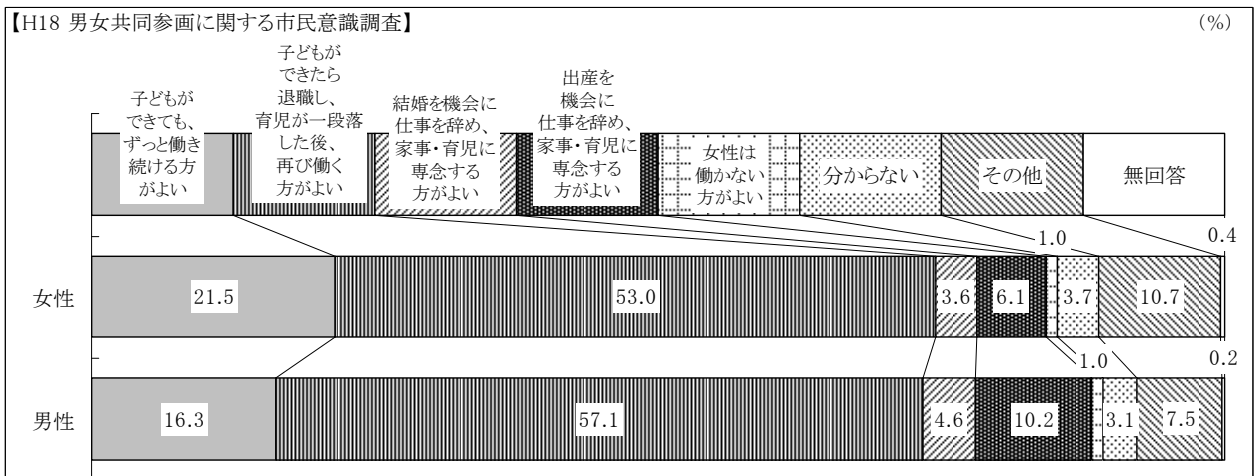
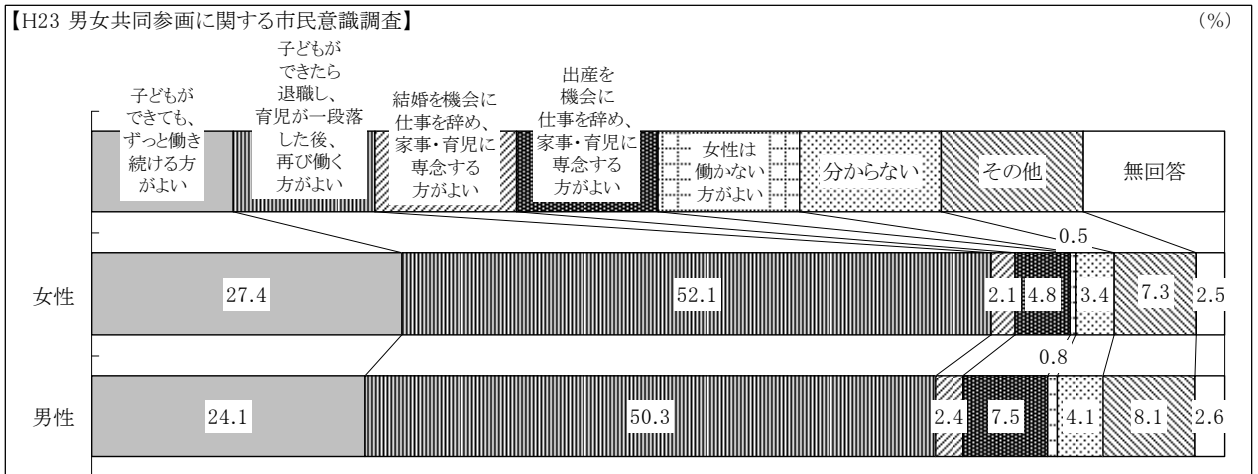
## Ⅱ 仕事について

### ◆女性が働くことについて

問4 あなたは、女性が働くことについて、どのようにお考えですか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。(SA)

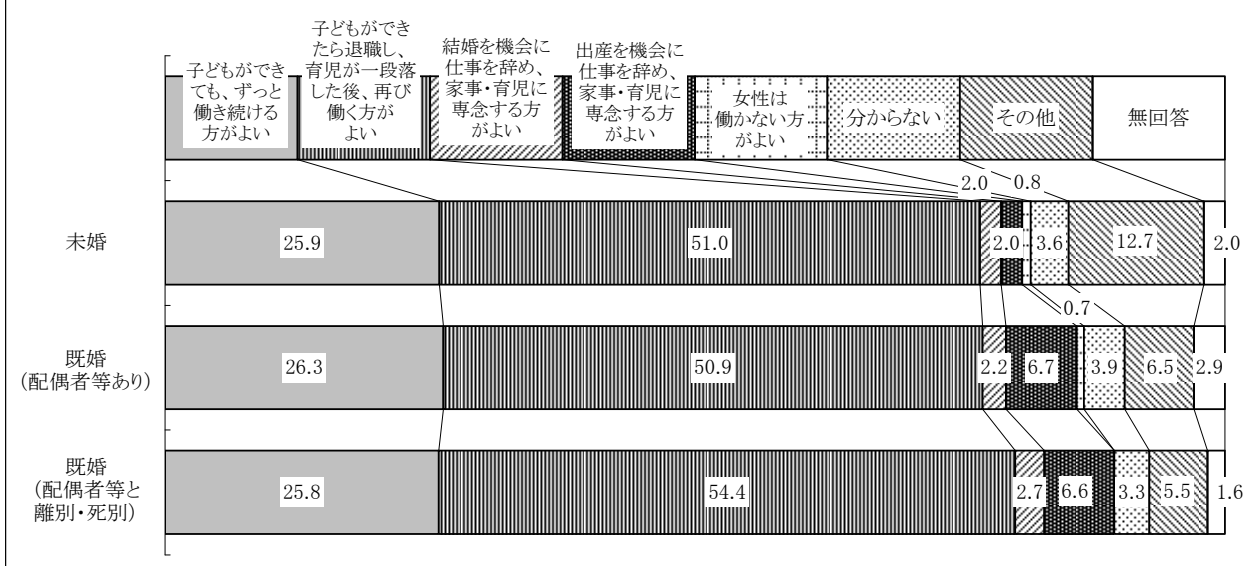


### 【性別】



【婚姻有無別】

【H23 男女共同参画に関する市民意識調査】

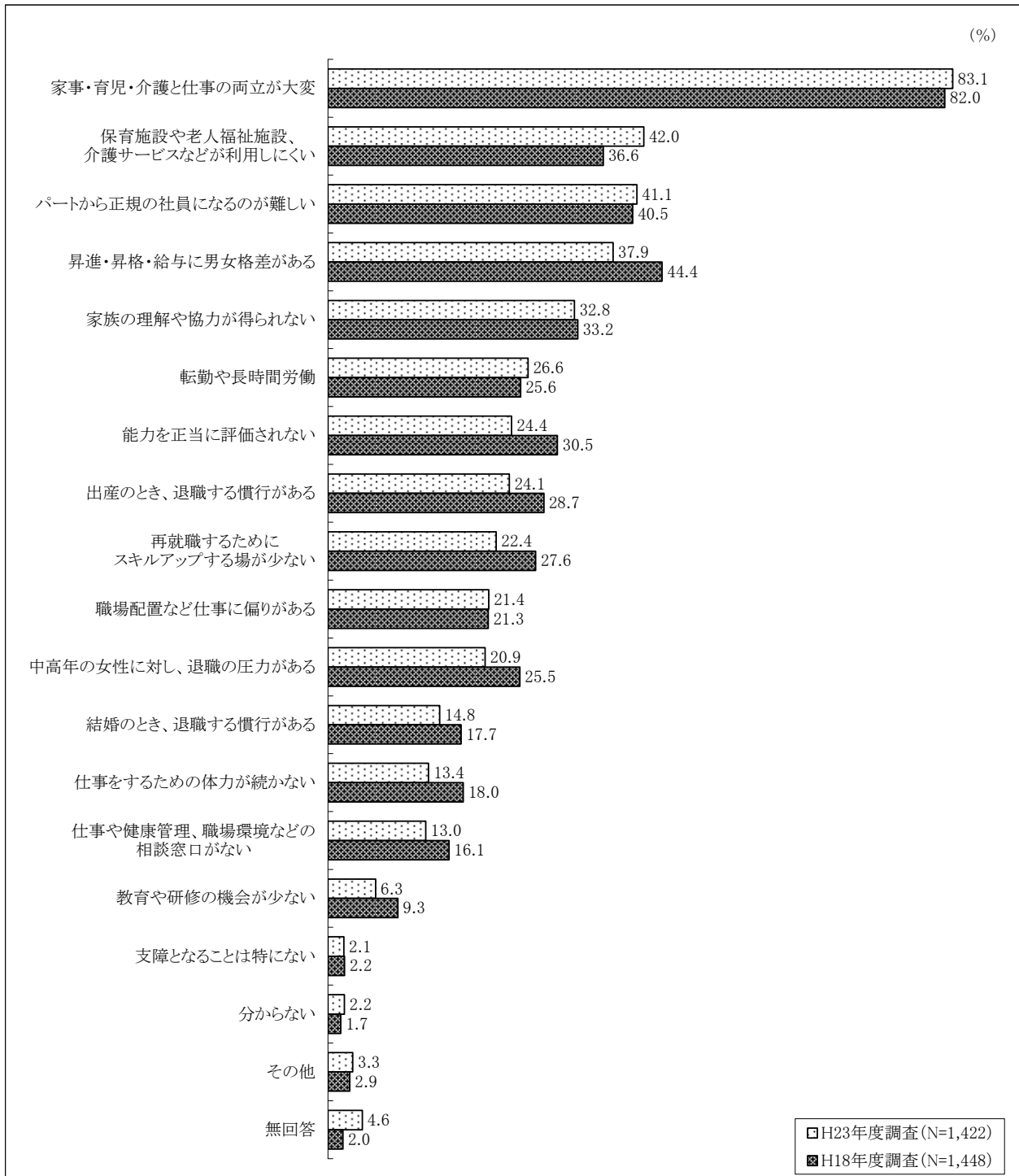


女性が働くことについて、「子どもができた後、再び働く方がよい」が51.8%と最も高く、「子どもができて、ずっと働き続ける方がよい」(25.5%)を合わせた『働く方がよい』が77.3%となっている。

前回調査(H18年)との比較では、『働く方がよい』が2.8ポイント増加しているが、このうち「子どもができて、ずっと働き続ける方がよい」が6.2ポイント増加し、「子どもができた後、再び働く方がよい」が3.4ポイント減少している。

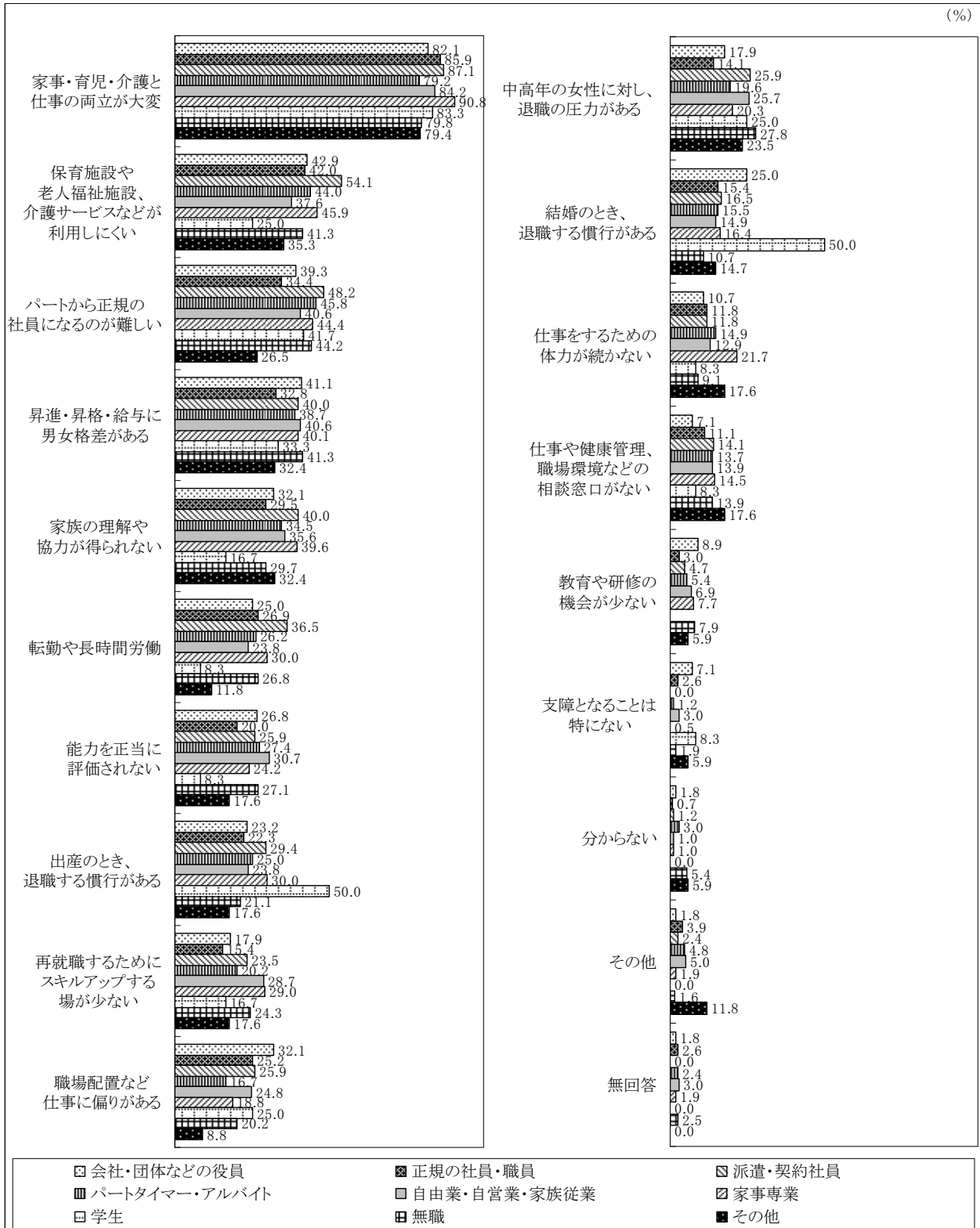
◆女性が働く上で支障となること

問5 あなたは、女性が働く上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。(MA)

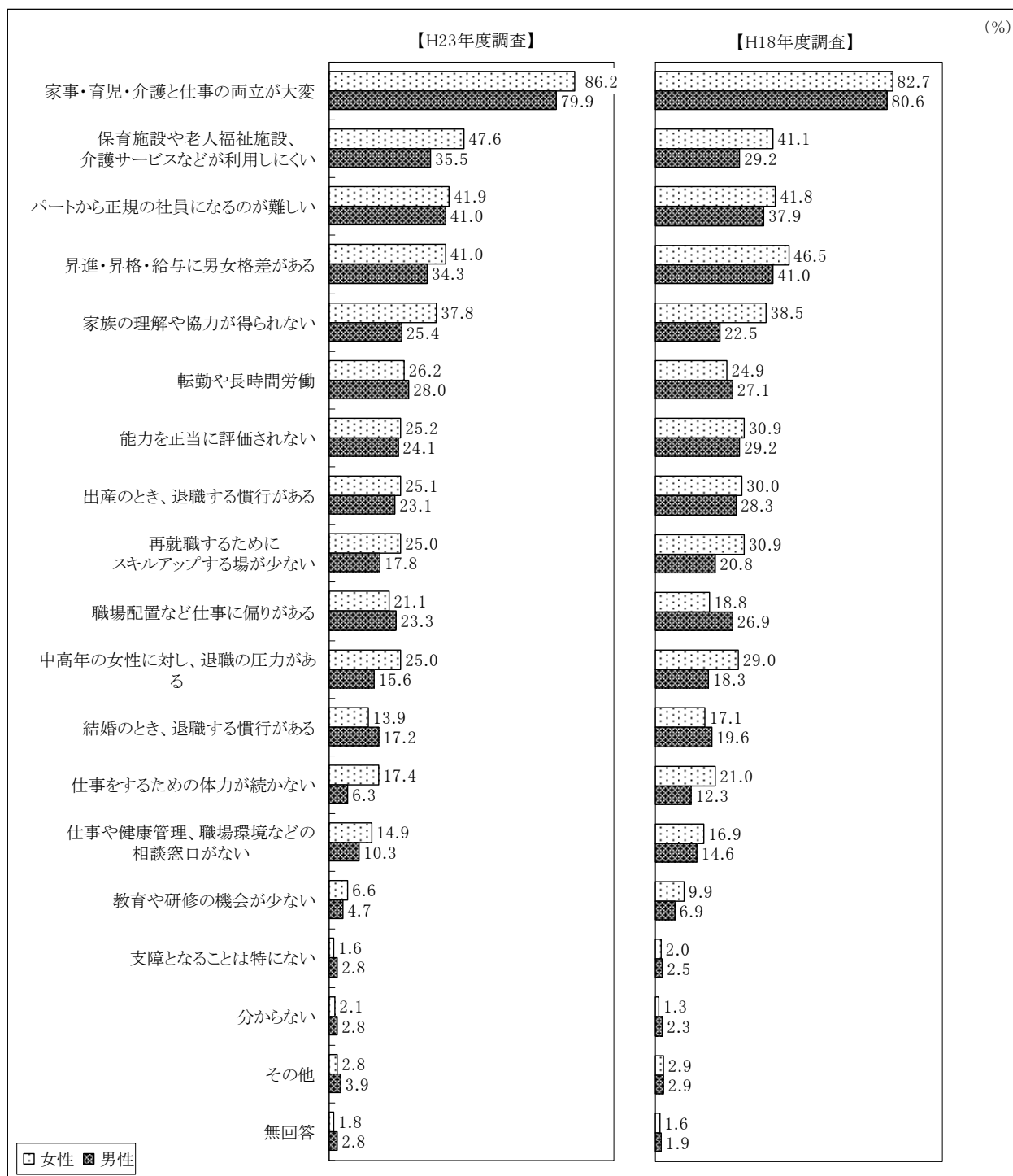


【職業別】

(%)



【性別】

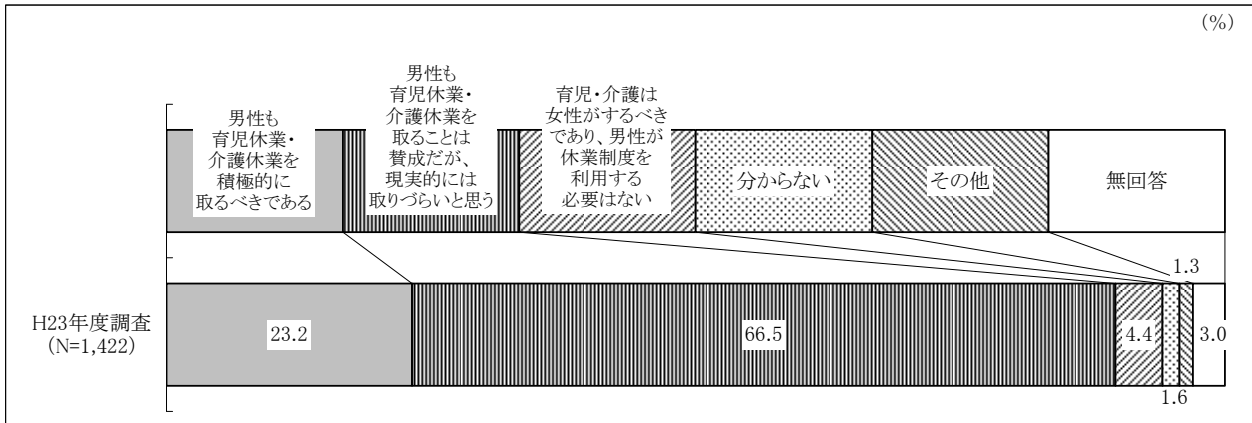


女性が働く上で支障となることとして、全体では「家事・育児・介護と仕事の両立が大変」が 83.1%と最も高くなっている。これに続き、「保育施設や老人福祉施設、介護サービスなどが利用しにくい」が 42.0%、「パートから正規の社員になるのが難しい」が 41.1%、「昇進・昇格・給与に男女格差がある」が 37.9%となっている。

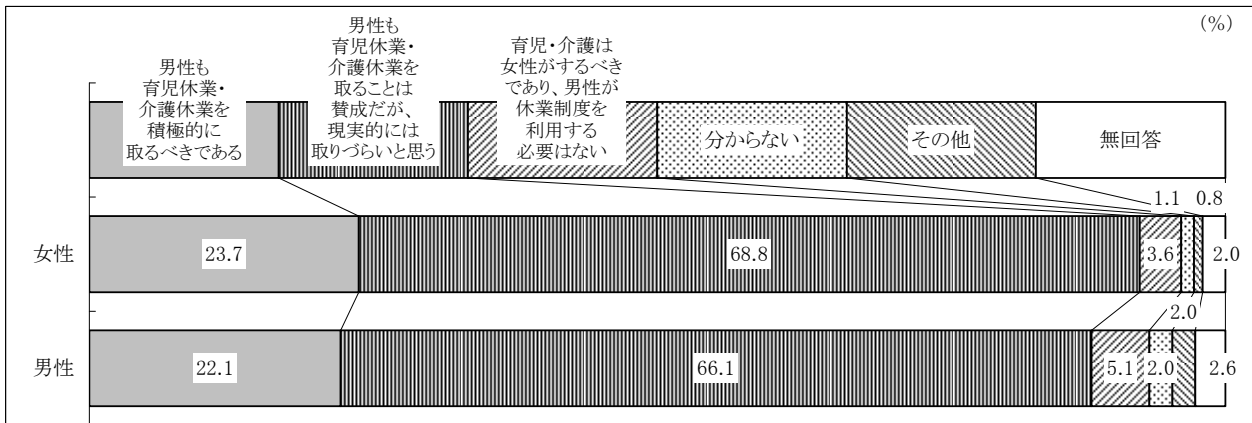
男女差が最も大きかったのは、「家族の理解や協力が得られない」で、女性が 37.8%であったのに対し、男性は 25.4%であり、12.4 ポイントの差がある。

◆男性の育児休業や介護休業の利用について

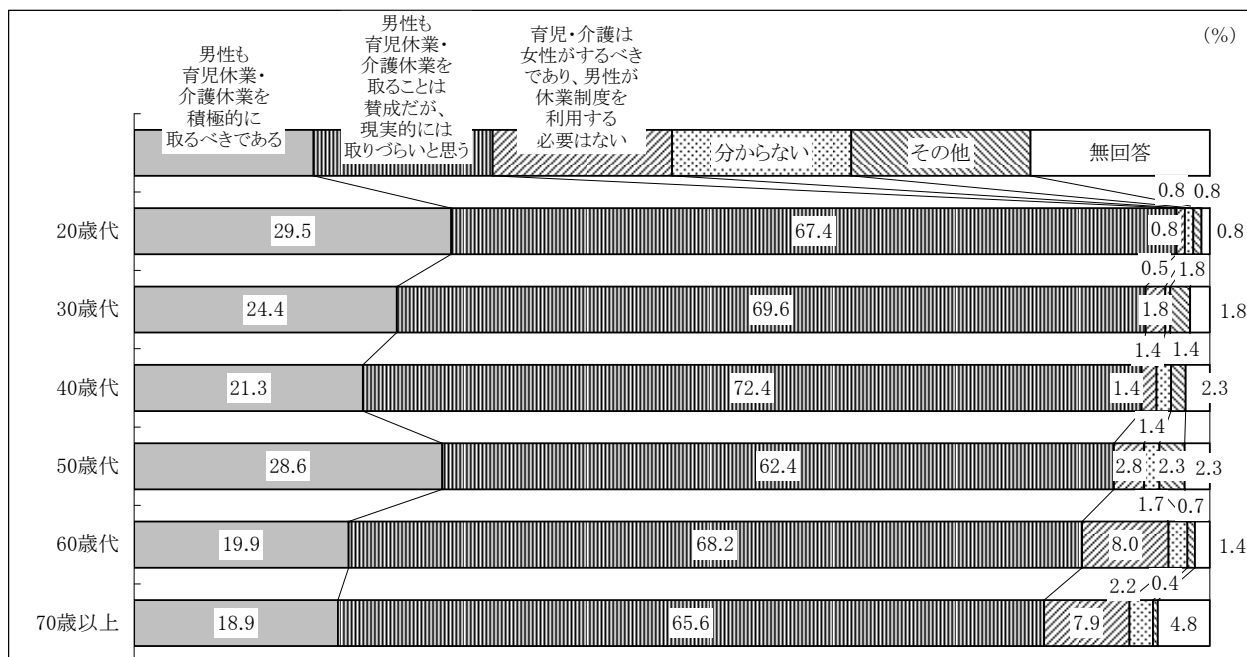
問6 あなたは、男性が、法律に基づく育児休業や介護休業を利用することについてどう思いますか。  
あてはまる番号に1つ○をつけてください。(S A)



【性別】



【年代別】



男性の育児休業や介護休業の利用について、「男性も育児休業・介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が 66.5%と最も高く、「男性も育児休業・介護休業を積極的に取るべきである」の 23.2%を合わせた『男性も育児休業・介護休業を取ることに賛成』する割合は 89.7%に達している。

男女別では意識に大きな差異は見られない。